



マルチパスウェイで 持続可能な社会を実現する

ACHIEVE A TRULY SUSTAINABLE SOCIETY
THROUGH MULTI-PATHWAYS

自動車業界がモビリティ社会へ変貌と遂げていく、その黎明期において、真に持続可能な社会に向けてマルチパスウェイという考え方で責任あるトランジションを進めていく事が重要であると考え、その鍵となる電動化時代における内燃機関の役割という点について、今回の趣旨に全面的に賛同しています。

G7広島サミットでのメッセージ MESSAGE AT THE G7 HIROSHIMA SUMMIT

DIVERSITY IN CARBON NEUTRALITY

カーボンニュートラルにも、多様性を。

Faced with the global crisis of climate change the world must come together and do everything that can be done immediately toward achieving carbon neutrality.

That's why all of Japan's automakers, already leaders in the development of electric vehicles, have engineers hard at work pursuing practical applications for hydrogen and carbon neutral fuels, updating logistical systems, and enhancing research within their respective fields of production, transport, and utilization.

United in the conviction that diverse solutions leaving no one behind is what makes us strong enough to face global issues, the automakers of Japan are proposing a range of possibilities for carbon neutrality.

気候変動という地球規模の危機が迫るいま、カーボンニュートラルの実現に向けて、世界中のみんなが一丸となり、今すぐできることから行動を起こす必要があります。

そのために、歴史ある日本の自動車産業は、多様な取り組みを進めています。脱炭素化をけん引する電気自動車の開発を筆頭に、水素・カーボンニュートラル燃料の実用化や物流改革などそれぞれの技術者たちが「つくる」「はこぶ」「つかう」各領域で切磋琢磨しています。

だれ一人取り残すことのない、この多様な選択肢こそが、地球規模の課題と向き合うチカラになると信じて。いま、日本の自動車メーカーがひとつになり、世界に向けて、カーボンニュートラルの可能性を発信します。

G7広島サミットでも、多様な選択肢でカーボンニュートラルに取り組んでいく事がメッセージされました。

その実現に向けて志を同じくする仲間と切磋琢磨し、また協調し、共に取り組んでいくことで、お客様がワクワクするクルマを提供し続けていきたいと思っています。

ビルディングブロックによるマルチソリューション戦略 MULTI-SOLUTION STRATEGY WITH BUILDING BLOCKS

BEV専用群
BEV MODELS
プラットフォーム
PLATFORM



ラージ群
LARGE PRODUCT
GROUP
縦置き型プラットフォーム
LONGITUDINAL PLATFORM



スモール群
SMALL PRODUCT
GROUP
横置き型プラットフォーム
TRANSVERSE PLATFORM



当社は、2007年の長期技術ビジョン公表以降、LCAの考え方をベースに技術資産をビルディングブロックのように積み上げる方法で、マルチソリューション戦略を構築してきました。

既販車も含めたCO2総排出量削減
REDUCTION OF TOTAL CO2 EMISSIONS
INCLUDING VEHICLES ALREADY SOLD



電動化+エンジン
ELECTRIFICATION + ENGINE



カーボンニュートラル燃料
CARBON-NEUTRAL FUELS

今まさに、電動化にエンジンを組み合わせ、そしてカーボンニュートラル燃料までを含めた取り組みを進めることで、既販車も含めて足元からCO2の排出総量を引き下げていく事。



多様なソリューションをお客様のニーズ、ウオント、ライフスタイルに合わせて提供する事により、より多くのお客様に地球環境の保全へ参画していただけるようにすることが非常に大切だと考えています。

その観点から、昨日公表された出光興産株式会社様、ENEOS株式会社様、トヨタ自動車株式会社様および三菱重工業株式会社様の業界を超えた連携によりカーボンニュートラル燃料の社会実装に向け解決を加速していくという取り組みは非常に強く賛同できるもので、ぜひ当社も活用促進などに取り組んでいきたいと思っております。



今回の趣旨である電動化時代における内燃機関に関して、当社には、ロータリーエンジンというユニークな内燃機関があり、長年研究開発してきました。

ロータリーエンジンの環境性能に着目 FOCUS ON ROTARY ENGINE'S ENVIRONMENTAL PERFORMANCE



1990年ごろには水素を燃焼させるなど、早くからロータリーエンジンの環境性能の機会にも着目をしてきました。



小型 × 軽量 × 高出力
COMPACT x LIGHTWEIGHT x HIGH POWER

燃料の雑食性
COMPATIBLE WITH A VARIETY OF FUELS

電気ユニットとの組合せ自由度
FLEXIBLE COMBINATION WITH ELECTRIC UNITS

パッケージ革新
PACKAGE INNOVATION

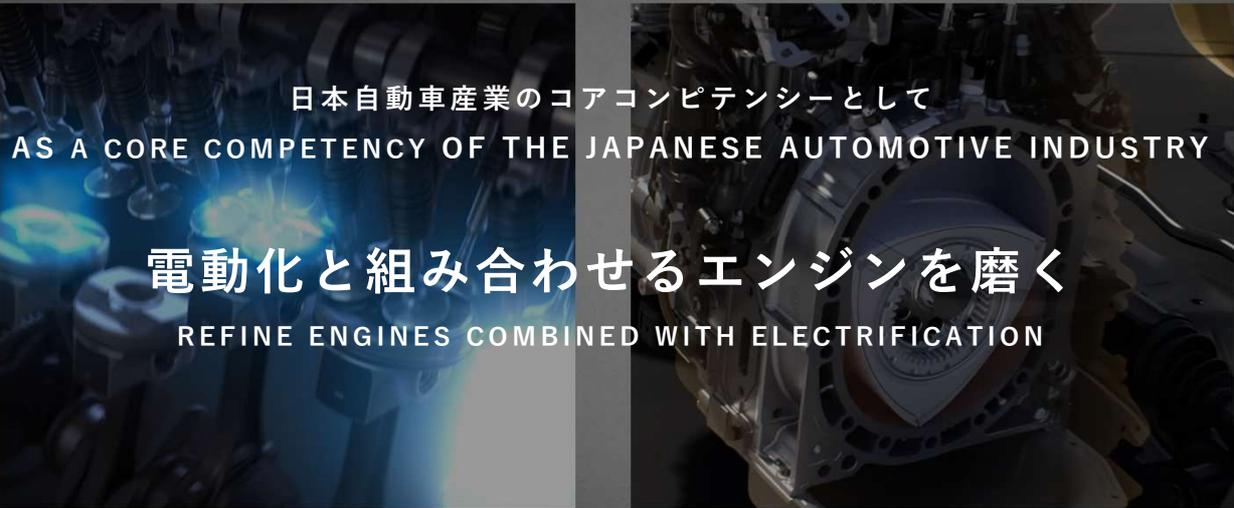
静粛性・振動の少なさ
QUIETNESS, LOW VIBRATION

ロータリーエンジンは、小型軽量高出力で、その構造の特性上、燃料の雑食性があるという特徴を持っています。

また、あまり知られていないかもしれませんが、コンパクトなサイズに加え、エンジン補器類のレイアウトの自由度が大きいので、電気デバイスと組み合わせる場合、スペース効率は抜群で搭載性に優れている点は大きな優位性なので、革新的パッケージングやデザインが実現できる利点があります。加えて、その静粛性や振動の少なさという特徴も唯一無二の価値だと思っています。



私は、このロータリーエンジンは、電動化時代に新たな価値を提供できるユニットとして大いなる可能性を持っていると考えており、現在克服すべき課題であるエミッション適合性の開発に全力を傾けているところです。



日本自動車産業のコアコンピテンシーとして
AS A CORE COMPETENCY OF THE JAPANESE AUTOMOTIVE INDUSTRY

電動化と組み合わせるエンジンを磨く

REFINE ENGINES COMBINED WITH ELECTRIFICATION

このエミッション適合性の開発は、エンジンにとって、将来最も鍵となる技術であり、必ず有益な経験となるはずだと思っています。

こうした学びも新たな協調領域にしていくことができれば、電動化時代における日本の自動車産業のコアコンピテンシーとして内燃機関を磨き、競争力を高めていけるとと思っています。

マツダの独自技術の代名詞

SYNONYMOUS WITH MAZDA'S UNIQUE TECHNOLOGY



最後に、ロータリーエンジンは、マツダの独自技術としてその代名詞ともいえるエンジンだと思っています。



ロータリーエンジンを社会に広く貢献できる技術に
MAKING ROTARY ENGINE A TECHNOLOGY
THAT CONTRIBUTES BROADLY TO SOCIETY

このロータリーエンジンを社会に広く貢献できる技術として活用できるようにすることが、この時代における私たちの使命だと思っています。飽くなき挑戦のスピリットで取り組んでいきます。

さて、最後に少しまとめたいと思います。



この写真は丁度1年前、富士スピードウェイでの共同会見のものです。今日、再び3社が集い、佐藤さんと大崎さんと共に育ててきた私たちの共通する思いを皆さんの前で述べる機会が持てることを大変嬉しく思っています。2つの競争(共創)で電動化時代にエンジンの未来を変えていく。

マルチパスウェイで誰1人取り残さないカーボンニュートラル社会への責任あるトランジションを実現していく、同じ志を持つ仲間を広げ、共に切磋琢磨を行って参ります。

今日のワークショップでぜひ私たちの熱い思いに共感いただければ嬉しく思います。よろしくお願ひします。ありがとうございました。